

社協だより しあわせ

猪苗代町社会福祉協議会

第79号

令和2年3月10日発行

社会福祉法人猪苗代町社会福祉協議会

猪苗代町大字千代田字中島26-2

TEL(0242) 62-5168

72-1435

FAX(0242) 62-5183

HP <http://inawashiro-shakyo.or.jp>

地域で暮らす児童・生徒が身近なところ
で暮らしている高齢者、障害者等、さまざま
な生活や生き方があることに気づき、福祉
への理解と関心を高め、共に生き、支え
合う心を育てることを目的に、ボランティ
ア出前講座を開催しました。

今年度は、11月25日に猪苗代小学校、2
月19日に緑小学校で開催しました。高齢者
疑似体験セットは、足くびには重り、膝、
肘にはサポーター、手には手袋をつけて動
きづらしくし、耳にはヘッドホンを付け聞こ
えづらしくし、頭には専用のゴーグルを付けて
見えづらさするもので、児童からは、「聞
こえなーい」「周りが見づらい」などの声
が聞こえきました。また、「自分の家の
おじいちゃんや、おばあちゃんがなぜ、大き
な声で話したり、テレビを見たりするの
か分かった」という児童も見受けられまし
た。

体験後、感想を書いてもらひましたところ、
「優しく思いやりをもって接する」「優しく
声をかけていきたいと思った」「困っている
人がいたら、声をかけてあげて、手伝っ
てあげたいと思いました」など体験前と後
では気持ちに変化があったようでした。

お元気クラブ活動 《高齢者生きがい活動支援通所事業》



鈴木清孝さんの講和

※申込みは、猪苗代町役場保健福祉課に備え付けの登録申請書に必要事項を記入の上、保健福祉課窓口に提出してください。

この事業は、町の高齢者が元気・はつらつと生きがいを持って生活できるよう、老人福祉センターへ通いながら運動やレクリエーションなどをするものです。

この度、大広間において、1月29日、2月4日、6日、7日の4日間「古関裕而と高原列車は行く」と「会津の冬語り」と銘打ち、町内在住の鈴木清孝さんによる講話をいました。

4月からのNHK朝ドラ「エール」の主人公のモデル「古関裕而氏」と猪苗代町の繋がりや、「高原列車は行く」はどのようにできたかなどを、広く知つてもらうためのお話しや、会津に由来する冬がたりを聞きながら、楽しいひと時を過ごしました。

猪苗代町老人福祉センター

利用時間 午前9時～午後4時30分（入浴の最終受付時間は午後3時30分です。）

●休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌日の火曜日が休館となります。）

●その他ご案内

- ・マッサージチェア、ヘルストロンなどが利用できます。
- ・休憩は、ロビーまたは大広間をご利用ください。
- ・当センターは温泉施設です。酒類の持ち込み、酒気帯での入浴はご遠慮ください。

※利用証を作成しますので、町民と分かる身分証をお持ちください。

●所在地 猪苗代町大字蚕養沼尻山甲 2855-173

●電話 0242-64-2575



	1回	回数券(11枚綴り)
一般	200円	5,000円
子供(小学生まで)	250円	2,500円
町内老人(60歳以上)	500円	2,000円

教育福祉資金のご案内

教育支援資金は低所得世帯に資金の貸し付けをすることにより、進学や修学の継続を支援し、世帯の将来的な自立につなげることを目的とした制度です。修学中から卒業後に就職して返済を終えるまで、継続的に相談支援を行います。原則として修学する本人が借受人になり、世帯の生計中心者が連帯借受人となります。

高校、専門学校、短期大学、大学の入学金、授業料などの未払い費用が対象です。

●就学に必要な経費（授業料、参考書、学用品、交通費（通学定期代、賃貸アパート家賃など）

●入学に際し必要な経費（入学金、制服、教科書等の入学時に学校に納入する経費）

◎受験する学校が決まっていれば、合格前であっても「予約申し込み」として申請が可能です。

◎他の貸付制度（母子及び父子福祉資金、日本学生支援機構など）が利用できる方はそちらが優先です。

◎申し込みには審査があります。また、申請から資金交付まで1ヶ月程度かかります。

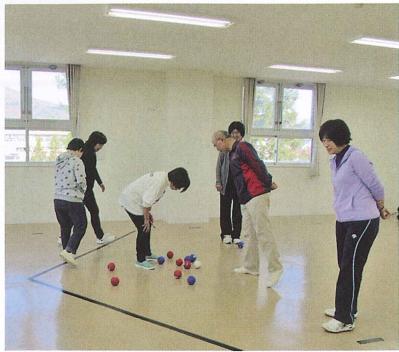
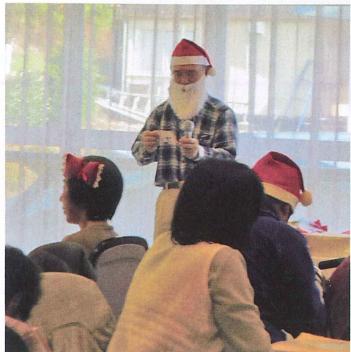
◎民生委員による意見書が必要です。



私たちこんな活動をしています。

ここでは、各種団体の活動を紹介します。

今回は猪苗代町手をつなぐ親の会です。



猪苗代町心身障がい児・者手をつなぐ親の会では、心身に障害をもつ子の親たちが手を携えて、子どもたちの幸せを目的に児童福祉の増進を図っています。具体的には、親子交流会・クリスマス会等を行うとともに県内各地の事業所への視察研修をおこなっています。

子どもさんが障がいをもっていることで、一人で悩んでいませんか？

手をつなぐ親の会は、そういう一人一人の思いを、みんなで考える会です。

~サロン活動~

三城潟サロン（三城潟地区）



集まつた順にお茶飲みを始め、ひと話咲かせてからゲームを楽しんでいます。今回（2/12）は、ボッチャに挑戦！いつも笑いが絶えないサロンです。

新町お茶会（新町、九軒町地区）



保健福祉課小板橋さんより、お口の体操やこたつに入りながら出来る手や足指の体操を行いました。



桜サロン（川桁地区）



11月7日 芋煮会を開きました。

野菜を持ち寄り、みんなで野菜を刻み大鍋で豚汁を作りました。「んめえなあ」とおかわりをし、身も心も温まり、笑顔があふれました。

桜サロン代表 遠藤理江子さん 談



※サロンに興味・関心がある方、お気軽に社会福祉協議会までお尋ねください。

猪苗代町社会福祉協議会 TEL 62-5168 FAX 62-5183

(担当：小林・浅野・鈴木)

~猪苗代町の宝物~

歳をとっても、介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることのできる地域をつくるためには、人ととのつながりとそのなかで行われる支え合いや、それらを増やし受け継いでいく事が大切だと分かりました。そこで、生活支援コーディネーターはその事をお手伝いし紹介することにしました。

※生活支援コーディネーター（支合い推進員）とは、住民が「高齢でも暮らしやすい地域づくり」に取り組むとき、役に立つ情報を提供したり、話し合いの場を設けたりして、あと押しをする人のこと。すべての市町村に配置されています。

【地区行事】



1月28日に半坂地区の大日講の皆さんで「新年会」が、こがねそばで行われました。この日を楽しみにしている参加者は、互いに情報交換をしたり、歌ったりしながら楽しく過ごしました。



1月28日に見祢地区において、お不動様が行われ、この日を楽しみにしてる町外の方も参加し、互いに持ち寄った料理やその時作った料理を皆で食べながら情報交換を行いました。

猪苗代町社会福祉協議会 62-5168 (担当 二瓶、小林、浅野)

【～暮らしのなかにある猪苗代町の宝もの～ 発表会 延期のお知らせ】

この度、3月6日（金）に開催を予定していました「『ながら 元気』暮らしのなかにある猪苗代町の宝もの」発表会は、新型コロナウィルス感染症の影響を考慮し延期することいたしました。今後の日程が決まりましたら、広報などでお知らせします。

発表会を楽しみにしていたみなさま大変申し訳ございません。



～編集後記～

久しぶりに書く編集後記。今年は猪苗代町にはないような陽気に驚きと何かあるのではないかという不安が・・・。そして、ちまたを騒がしている新型コロナウィルス感染症ですが、報道でしか聞かないためかこれまた不安です。しかし、いっぱい食べて、寝て、疲れを溜めずに過ごせば健康で過ごせるかな？と思っております。

皆さんもご自愛ください。



～日赤災害義援金～

日赤猪苗代町分区では災害義援金を受け付けております。皆様のご協力お願いします。



●現在受付中の義援金

- ・令和元年台風19号災害義援金
- ・令和元年台風第15号千葉県災害義援金
- ・平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
- ・令和30年7月豪雨災害義援金
- ・平成29年九州北部豪雨災害義援金
- ・平成28年熊本地震災害義援金
- ・東日本大震災義援金